

【シンガポール】

9-10月の市場動向トピックス

- 2019年9月の訪日シンガポール人数は、前年同月比24.5%増の29,100人で、9月として過去最高を記録。
- 2019年10月の訪日シンガポール人数は、前年同月比19.3%増の41,900人で、10月として過去最高を記録。

9月は前年同月比24.5%増の29,100人、10月は前年同月比19.3%増の41,900人で、それぞれの月で過去最高を記録した。9月は、学校休暇に伴う訪日需要や、昨年は台風第21号の影響による関西空港の閉鎖に伴う航空便の欠航等があったこと、10月は、昨年は11月だった祝日に伴う三連休が10月となり旅行需要が高まったことに加え、2019年春頃からの増便や機材の大型化による航空座席供給量の増加もあり好調な伸びとなった。

9-10月の主なプロモーション活動

・9月27日～29日の3日間、旅行博「Japan Travel Fair」を開催した。JNTOシンガポール事務所が主催した本イベントは日本の観光関係者及び現地の旅行会社それぞれの共同出展を募り、日本からは地方自治体や運輸事業者など14団体に、現地旅行会社は13社にご参加いただいた。会場となったPlaza Singapuraは街の中心地にあることから買い物客も多く来場し、3日間合計で38,622人の来場があった。会場では、オープニングセレモニーの開催のほか、茶道体験や当地で人気のシェフと連携したステージイベントなどで催し場を盛り上げ、共同出展者とともに情報発信等を行い日本の魅力を訴求した。

<ジャパン・トラベル・フェアの様子>



・10月以降、複数の航空会社との共同広告を実施した。7月に日本への観光促進を目的としたMOC(協力覚書)を締結したシンガポール航空とは、同社の日本への直行便がある関東や中部地域を対象としたオンラインメディアへの記事提出や、オンライン広告等を実施し、冬から春にかけての訪日旅行を訴求した。JALとは東北地方の冬の訪日旅行を訴求するオンライン広告を実施した。